2012/3/12

「震災コンサート本番」

昨日は 3 月 11 日『震災コンサート』本番でした。

なにせ、色んな団体と個人の集合したプロジェクトで、小中学生もいれば、高校生もいて、お兄さんお姉さん、おじさんおばさん、年配の方たちも、ほんとに色んな世代の集合でもありました。主催される方たちのご苦労は、並々ならぬものがあっただろうとお察しいたします■。

コンサート会場でのリハもなく、いきなりの本番。子供たちでさえ、色んな学校の子たちが今日初めて顔を合わせ、同じ歌を歌ったということだそうです。こんな大胆不敵なコンサートでしたが、「東北に届け！」という目標がひとつ、シンプルなだけに、リハなしでもまとまり、やりきってしまいました。

「目標がシンプル」というのは、強みだな～と思いました。この日は、日本中が鎮魂への祈りと、復興への祈りでひとつになっていましたが、会場も思いをひとつにしていたのでしょう。特に午後になったら「おお～！」と驚くくらいたくさんの観客の方たちでいっぱいになりました。

歌う方になれたのも良かったのですが、観客として聞いてもみたかった、と欲張りなことを考えてしまいました。ビデオか録音でも撮っていたなら、見たり聞いたりしたいものです。

富山市内では、この『東北にとどけ　ふるさとの歌』という催しものの他、東北の食べ物の試食や販売をしての支援イベントとか、お寺での大法要とか、『原発反対』のパレードとか、ほんとに色んな集いがあったようです。

おつかれさまでした。（代表、眠らないで～■。）
今回は参加できなかったメンバーの方たちから、お菓子や一口寿司の差し入れをいただきました、ごちそうさまでした、どうもありがとーー！！あったかいお気持ち、とても嬉しかったです！(^^)!